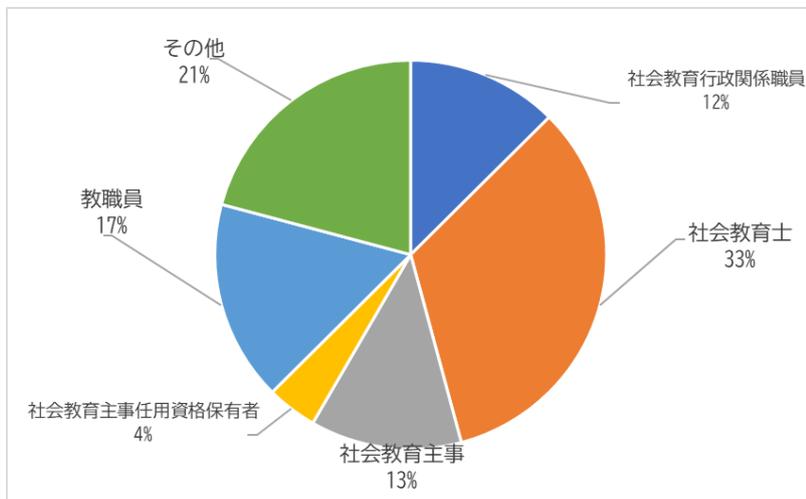


「わたしと〇〇をつなげる対話」

事業の内容

- 1 日時 令和7年12月18日（木）
13:30~15:30
- 2 場所 対面：かでの2・7 1050会議室
オンライン：Web会議システム zoom
- 3 参加者 28名



I プログラム

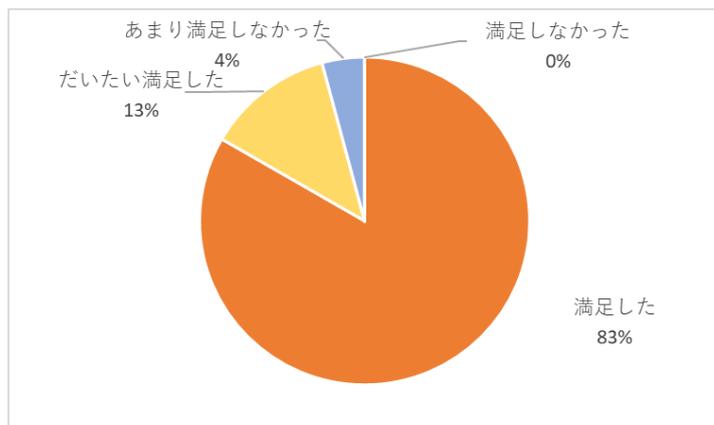
13:30	13:30	15:30	15:40	16:00
受付	開会	講義・演習	閉会	学習相談 (事前申込者のみ)

<p>【講義・演習】 わたしと〇〇をつなげる「対話」</p> <hr/> <p>【講師】 ひらけごま。代表 若杉 逸平 氏</p>	<p>【内容】 講師から、「対話」とは、ただ相手と話をすることだけではなく、沈黙も「対話」であり、「きくことこそ対話」という説明があった。「きいているだけでいい」という心理的に安心を感じることで、話をしてもいいと思える場をつくるのが大切ではないか、また、自分自身が大切にされる経験をすることで、他者を大切に感じる感覚を得ると説明があり、講師からの説明の後、参加者それぞれが考える「対話」とは何か、ということや、自分を大切にするために何ができるか、の講師からの問いに対して、グループで交流した。</p>
--	---

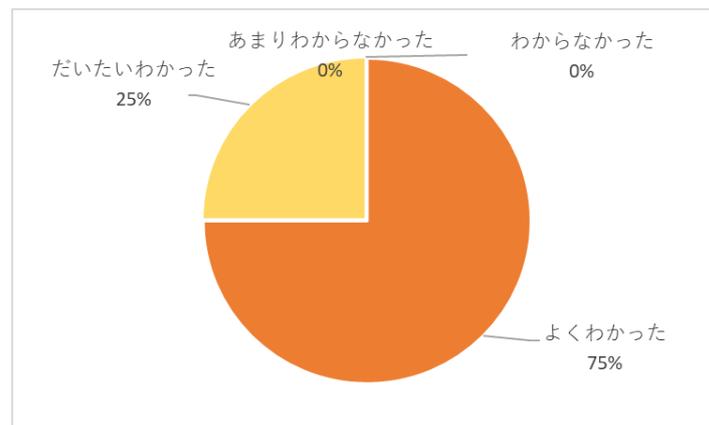


Ⅱ アンケート結果

1 満足度



2 理解度



Ⅲ 参加者からの声

- ・日頃実践している対話では、中学生がおとなしい、言語化するのが苦手、デジタル化が進む中で、これは避けては通れない特徴だと思っていました。ですが、それを負の一面としてとらえるのではなく、沈黙も対話というお話があり、さらにグループトークでは、名前を呼ばれるだけでも嬉しいという感想があり、それも驚きでした。沈黙でも対話できるという斬新で新しい発想に出会えたことが、今回の一番の学びとなりました。
- ・本日「沈黙も対話」というお言葉に触れ、黙っていながらもその場に安心していられる環境作りについて、あらためてチームメンバーと対話する時間を持ってみたいなど前向きな気持ちになることができました。
- ・高校教育での指導にも、役に立つ学びがたくさんありました。
- ・私はこれまで、対話とは「対等に話をするることである」と考えていたので、本日の研修で「沈黙も対話であること」「対話は人権であること」「聞くことは対話であること」などを学び、対話に対する考え方が変化して、世界が広がったような気持ちになりました。また、グループトークで、対話について話し合い、お互いを大切にすることについて話し合ったのは、たくさんの気づきがあり、有意義な学びとなりました。今後の仕事や生活で活かしていきたいと思います。
- ・対談、対話、会話の違いを皆さんと共有できたこと、少し他愛のない話もしましたが、それがよい対話「コミュニケーション」にも繋がっていくと思いました。

Ⅴ 担当者からひとこと

最近「対話」という言葉を耳にしますが、「対話」とは一体何か、直接学んだことは私自身もありませんでした。漠然と、言葉のキャッチボールのようなイメージを持っていましたが、講師の先生からお話があったように、「沈黙も対話、きくだけでも対話、きくことこそ対話」という言葉を聞き、話すだけが対話ではないという気付きや、話してもいいと思える心理的安心の場をつくることの大切さを学ぶことができました。「対話」は目に見えないだけでなく、人それぞれの「対話」の考えがあり枠にはまらないからこそ、いろいろな人と考える必要があるということを感じました。